

毎週日曜発行
2022 2/13

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



地球のためにできること

下水で海を汚さない

きょうのテーマ

みんなは毎日トイレで水を流すよね。水は風呂や台所でも使い、下水道を通して海や川に流されるよ。下水は、国連の持続可能な開発目標（SDG S）の「安全な水とトイレを世界中に」や「海

の豊かさを守ろう」などに関係するんだ。

◇ 仙台市南蒲生浄化センター（宮城野区）は七北田川の河口近く、海が見える場所にあります。「100万都市の70万人分の下水が集まり、1日40万立方メートルを処理できる東北最大級の施設です」と職員の大浦浩二さん（36）は説明します。



処理施設で浄化して放流

処理の仕組みはまず、流れてきた下水からごみなどを取り除き、重いものが沈んだ後で上澄みを「反応タンク」に送ります。微生物の力で汚れを分解し、きれいになった水を消毒して海に流し



ます。最後に残る汚泥は燃やして処分します。センターは東日本大震災の津波で大きな被害を受けました。職員ら10人は4階建ての管理棟屋上に逃げて助かりました。職員の菅野清司さん（69）は「海沿いの松の木が水中を魚雷のように飛

んでいった。みんな無事だったので全力で復旧復興に取り組みました」と振り返ります。センターは震災後も下水処理を続けました。同じ場所をかき上げし、2016年4月に新施設が完成。短期間で地盤を強くする工法、限られた土

地を活用する2階造りの沈殿池を導入。太陽光と小水力の発電設備も取り入れました。処理に使う微生物は菅野さんらが実験して培養したそうです。



下水は処理施設(正面奥)できれいな水となって海に流される。左は三浦さん＝仙台市南蒲生浄化センター

被災と復旧、先端技術を学ぼうと、震災翌年から国内外の人が視察に訪れました。視察者は12〜20年度で約1万4600人。アメリカやドイツ、トルコなど約20カ国の技術者らが含まれます。

子どもたちも見学に来ます。三浦さんは「みんなが水を流した先にある海を汚さないため、トイレットペーパーの量を少なくする、髪の毛を流さないなど少しでも意識してほしい」と訴えます。

◇ 毎日の暮らしの中で少しずつ、できることをしていけたらいいね。

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

今週の注目ニュース

◇17日(木) ガチャの日

カプセル入りのおもちゃをアメリカから日本に輸入した会社「ペニイ」(東京)が設立された日で、ガチャの面白さをもっと知ってほしいと記念日に登録したんだ。1965年に輸入したときは10円で遊べたよ。

きょうの紙面

- 2面 イマ★どきりポート
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7・8面 投稿特集